

ブランド担当制でイキイキとする！

今回は、ブランド担当制について書いています。
N: 光る商品を決めることが重要なのです。すなわち、売り出そうとする商品を決めることが非常に大きな意味を持っているのです。ブランド担当制を皆さんの会社でも検討してください。 栩野

MMQCとは「もっと儲かる業務改善」で「業務改善は、人づくり、動きづくり」を実践する着実・前向き・具体的な活動です。

ブランド担当制でMMQCを加速！

右掲は、あるお客様でブランド担当制をとり、なじんだ感じになった時に出的アイデアをチラシにしたものです。このお客様は、創業85年の歴史を誇る「ねじ」の老舗です。しかし、私がお付き合いし始めた頃(2000年)は、業界の構造変化の中で、翻弄されていた状態でした。

すなわち、一般品と呼ばれる規格品は、海外品が普及し始めて、製造ユーザーのコストダウン要請にマッチする為に資金力で海外品を輸入販売できる問屋が「価格」を武器に業界を席卷し始めたのです。このグローバル化の波に乗り遅れた同社は、旧態依然とした体質で業績を悪化させていたのです。

私は、自社を特長づける要因を強化するという方針で「ねじの3大悩み」(緩む・漏れる・錆びる)に特化を推進することにしたのです。「何でも売れる」から「これを売る」というフォーカスづくりを行ったのです。その特選品として、右掲のマルチ・アイボルトも候補にあがったのです。

マルチ・アイボルトの拡販を担当する制度をつくり担当者を決めたのです。従来なら、お客様に訪問しても「ご用聞き」スタイルの営業だったのですが、拡販担当に抜擢された事で自分たちが担当する商品に「誇り」を抱き始めたのです。船井先生は

「売上」=F(m, n) (m: 商品数、n: 光る商品数)

と公式化されていますが、まさに、担当するマルチ・アイボルトを「光る商品」へ磨きあげる気持ちが生まれ始めたのです。

このチラシは、その一環から出的アイデア、「手にとって、実際に試してもらおう」という「無料キャンペーン」を企画することになったのです。「無料」という気軽さで「胡散臭い」と身構えるお客様のガードを緩めるツールになったのです。実際に、お客様で体験が始まり、その結果「生の声」を聞くことが出来るようになったのです。協賛したメーカーは、この「生の声」を得て非常に喜ばれたのです。この「チラシ」には、実際の「生の声」を反映したものになっていますので、キャンペーンがよりスムーズに展開するようになり、「マルチ・アイボルト」の売上が順調に伸びて来るようになったのです。

現在、「n: 光る商品」の品数を増強する作戦にしています。漫然とした中で「n: 光る商品」を決めて、お客様にPRする事でCRMをより強固なものに高めることが出来るようになった事例です。

えっ！こんなに使いやすいの！という声を 無料お試しキャンペーンで体感して下さい！

期間：平成22年4月未迄

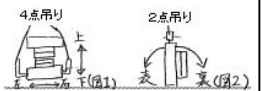
安全
第一



マルチアイボルトをお試して頂いた
お客様の声

☆K社のK様(金型メーカー)

当社では、右の2ケースを試しました。予定通りの動きでアイボルトとの違いが良く分かりました。スムーズな作業性で安全性に大きく貢献すると思います。



☆L社のM様(装置メーカー)

当社では、大型装置を製造しており、架台の吊り上げを試しました。吊り上げ作業も従来のアイボルト時よりもスムーズの実施でき、さらに、向き合わせが非常にうまいので、惚れこみました。

シャックル部が吊り方向に可動し、常にベストな状態で吊り上げが可能！

【特長】従来のアイボルトでは困難な重量物に対応！
マルチアイボルトは、重量物吊り上げ軸対して、360度回転。また、吊り方向に180度可動。
自在に重量物を吊り上げ！

待望のM48 さらに登場！
重量物に対応！

【用途】

- ①従来のJISアイボルトでは危険を伴う「横吊り」「斜め吊り」「引き起こし」などの作業にも安全。
- ②JISアイボルトの使用荷重が3倍。対象物のねじ穴加工が小さく、コストダウン。
- ③シャックルが180度可動。取り付けたままでも小スペース。



安全性の向上に貢献！

工場、製作現場、荷揚げ作業等の「安全」で自由自在の吊り上げに1週間お預けしますのでご自由にお使いください。

【キャンペーン実施要領】

M8、M10、M12、M16、M20、M24のうち、いずれかのサイズを貸出し致します。

お試し貸与サンプル
期 間 平成22年4月未迄、貸与期間：1週間

ワンポイント・アドバイス

「売上」=F(m, n)

「選択と集中」と言いますが、豊富な品揃えを誇るよりも、n: 光る商品を具体的に開発する事で、その商品の拡販キャンペーンでお客様にPRするのも非常に有効です。

